

実践レポート 小学2年 クラスの大へんしん

【C（14）よりよい学校生活、集団生活の充実】

学級での生活をよりよいものにするために必要なことを考え、自分が大切にしたいことを文章や絵で表現することを通して、つくりたいクラスを実現しようとする意欲を高める。

	学習活動（主な発問と予想される児童の反応）	指導の工夫
1	学級目標について振り返る 発問 学級目標の「元気」という言葉には、どんな気持ちが入められていたんだっけ？ ・みんなが、元気になるように。 ・うれしいことがあるように。 ・元気で、何でもできるように。 ・心をついに、元気でいるように。 ・みんなが、健康で元気でいられるように。 ▶「元気なクラス」にするために大切なことを、今日の授業でいっしょに考えましょう。	本時は、単元型学習の1時間目として位置づけているため、学級目標に含まれている「元気」という言葉に込められた気持ちを振り返ることで、実生活に起因し、実生活に帰着するような学習課題の設定を試みた。
2	教科書の絵を見て、「残念だな」「いいな」と思うところに印を付ける 発問 2枚の絵があります。（黒板に教科書P.68・69【①】の絵と、P.70・71【②】の絵を貼る。） ・いけないんだ！ 黒板に落書きしている。 ・②（の絵）のほうが、きれいに見えるな。 ▶何か、みんなにお話ししたいことはありますか。 ・こっち（①）は物がぐちゃぐちゃで、こっち（②）は整頓しています。 ・黒板に落書きをしてはいけないと思います。 ・教室の中を走っている人がいて、危ないです。 発問 「残念だな」と思うところや、反対に「いいな」と思うところを、丸で囲みましょう。 ・一つだけですか。物でも人でもいいですか。 ▶どちらでもいいですよ。たくさん見つけたら、たくさん印を付けてごらん。	児童が比較しながら考えることができるよう、2枚の絵を同時に提示した。 児童の直感的な気づきを大切にするため、教師からは、絵の中の状況を説明しないことにした。 丸を付けている児童の手が止まるまで、時間を取った。じっくりと絵を見ることで、直感的な気づきを吟味して望みしでの判断ができるようにした。
	教科書の絵を見て感じたことを、交流する 発問 「残念だな」と思ったことから、聞いてみようかな。 ・友達の髪を引っ張っているところが悪いなと思いました。 ・友達としゃべっていて、重そうなものを持っている人を手伝っていないから、丸を付けました。 ・話しかけられているのに無視しているみたいだから、丸を付けました。 ▶この子が、話しかけられているのに、知らんぷりしているみたいに見えたんだね。 発問 「いいな」と思うところは、ありましたか。 ・男の子と女の子が、楽しそうにお話をしているところです。 ・黒板をきれいに消しているところです。 ・こっちを見ている友達を、お話に誘ってあげようとしているところです。 ▶誘ってあげたり、教えてあげたりしているみたいだから、「いいな」と思ったんだね。 ・確かに、言われてみればそうだ。 中心的な発問 みんなが思う「元気なクラス」って、どっちの絵に近いのかな。 ・そっちじゃないよ。②、②！ ・うん。②だ。そっちに近いと思う。 ▶みんなは、こんなクラスにしたいのか。なるほどね。	板書では、丸印の色を変えることで、「残念だな」「いいな」と思える場面を、視覚的に区別しやすくし、意見交流の視点を焦点化した。 「〇〇だけど、△△していない」や「〇〇だから、□□しようとしている」のように、周囲の様子にも着目して行為の望みしさを判断している意見が出た際は、教師が状況を整理して言い直すなどし、発想を全体で共有できるようにした。 教材を通した学びをきっかけとして、自分のクラスや自分の生活を見つめ直すことができるように問いかけた。
3	自分がつくりたいクラスの実現のために、大切にしたいことを書く 発問 つくりたいクラスにするために、どんなことが大切か、書いてみよう。 ・みんなが優しく合って、元気なクラスがいいと思います。いたずらや無視をしないクラスがいいです。（「待って」と、外へ遊びに行く友達に話しかける絵を描き添えている。） ・悪いことをせずに、してもらってうれしいことができるクラスにしたいです。（教科書を配っている絵を描き添えている。）	文章だけでなく、絵や図での表現も認め、自分の内面を表出しやすくした。2年生では、最後に自分自身としっかり向き合うことができるよう、振り返りの時間を7分程度は確保するようにしている。